

## 令和2年北方領土対策特別委員会開催状況

開催年月日 令和2年3月24日（火）

質問者 民主・道民連合 広田 まゆみ委員

答弁者 北方領土対策本部長、北方領土対策課長

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p><b>一 北方領土フェスティバルについて</b></p> <p><b>（一）北方領土フェスティバルの実施状況について</b>            北方領土フェスティバルについて伺います。まず実施状況ですが、先程ご報告ありましたとおり、2月7日の「北方領土の日」に、さっぽろ雪まつり会場で「北方領土フェスティバル」が開催され、私も参加させていただきました。雪まつりのような大変集客力のあるイベントを活用した啓発活動は、より一層、国民の皆さんの世論を喚起・結集を図るためにも重要な取組と考えるところであります。行事の前半には、知事も私たち道議も参加した式典だったわけですが、その後非常に楽しい、雪の降る中でしたが和太鼓のアトラクションもありました。私自身は最後まではいれませんでした。このアトラクションも見学させていただきました。式典よりもはるかに多い皆さんがお集まりになっておりました。その中には、多くの外国人が訪れていらっしゃいましたが、外国語による北方領土の説明ですとか、返還要求運動の意義についての案内・説明が無かったことは、非常にもったいないと考えたところであります。啓発効果を高めるためには、アトラクションに集まってくださった国内外からの人に対してうまくアピールするために、式典とアトラクションの順番ですとか、開催方法も含めて検討することが必要ではないかと感じたところであります。</p> <p>北方領土問題の長期化により、この「北方領土フェスティバル」は残念ながら開催回数を重ねていますが、そもそもこの「北方領土フェスティバル」、雪まつり会場で行っておりますが、誰に対しアピールするものなのか、その目的を検証する必要があるのではないかと考えます。外国語での啓発をこれまで行ったことがあるかも含め、これまでフェスティバルで行ってきた具体的な啓発の実施状況について伺います。</p> <p><b>（二）今後の取組について</b>            これまでの実施状況についてご答弁がありました。雪まつりというものの、今、コロナウイルスの関係で逆にそこにたくさんの海外の方が来るということが、一つの課題になったように、国内外から多くの観光客が集まる場でアピールするのであれば、外国語によるアナウンス、例えば知事や高校生のメッセージであるとか、そんなに長い時間のセレモニーではないと思いますので、英語での通訳ですとか、少なくとも皆さんがそこに集まった時に今何をやっているかが分かる表示が最低限必要ではないかと、会場を訪れる外国人の方々への対応も必要ではないかと考えます。今後に向けて、来年度に向けてどのように取り組んでいくのか伺います。</p>	<p><b>（中島課長）</b>            北方領土フェスティバルの実施状況についてでございますが、この北方領土フェスティバルは、国民の北方領土問題に対する理解と関心をより深め、返還要求運動を全国運動に発展させるため、昭和50年(1975年)から毎年、雪まつり会場において全国から訪れる観光客等に早期返還要求を訴える啓発イベントとして開催してきているところでございます。</p> <p>このフェスティバルでは、国、道、道議会などからの決意表明や次の世代を担う高校生からの呼びかけを通じまして北方領土の早期返還要求を訴えるとともに、署名活動への協力を働きかけておりますが、これらの訴えや呼びかけ、会場アナウンスについては、全て日本語のみにより行われてきているところでございます。</p> <p><b>（佐藤本部長）</b>            今後の取組についてでございますが、北方領土問題の解決に向けた国の外交交渉を後押しするためには、国内における世論喚起はもとよりでございますけれども、北方領土問題に関する日本の立場や考えを海外に向けて発信をし、国際社会の理解を得る努力を重ねること、こうしたことも重要であると認識をいたしております。こうしたこともございまして、北方領土フェスティバルの会場となる雪まつりについては、平成23年以降、相次ぐ国際航空路線の開設がなされ、かつ国や道のインバウンド増加に向けた取組もありまして、春節を利用した中国や台湾をはじめ外国客が急増する状況にありますことから、この会場ではこれまで、署名ブースにおいて、多言語表示による看板やパンフレットにより外国人の方々へのアピールを行って</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>今、お話しありましたように、署名ブースの方ではある程度、外国語のパンフレットなども配られているということですが、そこに足を運んでくださる方は一定程度ご理解・関心がある方だと思いますけれども、そうでは無いアトラクションなどに知らないで来られた方に対する情報提供に関して、雪まつり会場での配布物の制限などがあると伺いましたけれども、主催者側ともしっかり連携をして、今、日本人がステージ上で、知事が時間を取ってきているわけですから、どういうアピールをしているのかを少なくとも分かるような掲示物は最低限必要だと思いますので、実施団体の方とも検討いただくよう、要請をいたしまして質問を終わります。</p>	<p>きたところでございます。ただいま、委員から様々ご提案を頂戴いたしましたけれども、今後、この式典における多言語による対応などを含め、より効果的な啓発事業となりますよう、事務局でございます北方領土復帰期成同盟と話し合うなど工夫をしてみたいと考えております。</p>